

July
2009



「やったー、入ったぞー！」輪投げに大はしゃぎ



「私たち、環境について勉強しています！」



“イチオシ”的
図書紹介コーナー



「早く、早く！」下のペットボトルに移せるかな？

今年の夏の気温は全国的に平年並みか高めだそうですが、さて岩手の夏はどうでしょう？夏本番を間近に控え、山へ海へとお出かけを心待ちにしている方も多いのではないでしょうか。

環境学習交流センターでは、今年度も毎年恒例の「アイナの森たんけん春ver.」を行ったり、6月の環境月間では岩手県立図書館と連動して、環境問題関連の“一押し図書”を紹介するコーナーを設置したりと、様々なイベントや企画展を開催しました。

今号では、大人気「エコカーゴ」の裏話（？）や環境アドバイザーの紹介など、センターの情報がより身近に感じられるような内容でお届けします。

Index

▶センター情報

- ・展示
- ・エコカーゴが行く！～第4回～

▶団体紹介

- ＜花巻市＞NPO法人イーハトーブ里山水棲生物保存会
- ＜岩泉町＞いわいすみ山人会

▶「皆で取り組んでいます。

CO₂ダイエット日記 その4

▶県内イベント情報

▶県内イベント報告

▶環境アドバイザーの紹介

▶特集コラム

及川斉志さんのドイツ通信 vol.4



センター情報

今年度で4年目を迎えた環境学習交流センター。昨年度から“センターの顔”として、県内各地を駆け巡り出張環境学習で大活躍中の「エコカーゴ」や、センターでは子供たちに人気の「発電体験コーナー」や「森の工作館」も更にパワーアップして、皆様のご利用をお待ちしています。

○展示

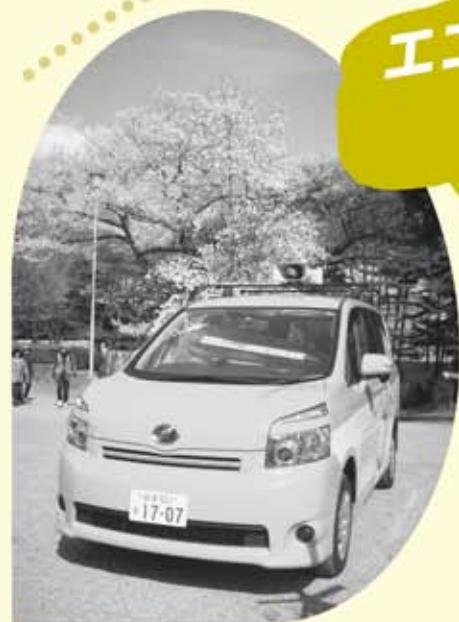


さあ、あなたも 「樹木博士」になろう！

古くから人々の生活を支えてきた森林。皆さんは、岩手県の森林面積がどのくらいか知っていますか？その面積は、北海道に次いで全国第2位の118万ha。つまり、岩手県の面積の約75%が森林で占められています。人間の生活と関わりの深い樹木ですが、実は知らないことが多いのでは？

センターでは、川井村にある「木の博物館」よりお借りしている23種類の木の標本を展示しています。水源涵養地としての働きを持つ“ブナノキ”や森の工作コーナーでお馴染みの“トチノキ”（柾の実）を始め、木目が美しいため建築内装やおもちゃ材といった工芸にも利用される“エンジュ”も展示。もちろん、ご自由にお手にとってご覧いただけます。

エコカーゴが行く!
第4回



今年2年目を迎える「エコカーゴ」。今年度も昨年度に引き続き好評で、申込み殺到中！今回は、自然の中で行われた出張学習会の様子を紹介します。

出張環境学習会 番外編

田野畠村へ向かう途中で、エコカーゴの走行距離メーターが「11,111km」に！なんだかラッキー☆な気分になりますね。エコカーゴも一年でこんなに走ったのかーと改めて感じました。次は「12345」を目指します！



第8回りんごの花まつり

出動日：5月17日（日）
場 所：うわのりんご園内（滝沢村）

昨年出動し好評だったため、今年も「りんごの花まつり」にエコカーゴが参上。ところが、当日はあいにくの大雪という悪天候…。雪がザーザーと降りしきる日でした。外で行われるイベントは、どうしても天候に左右されてしまいます。しかも寒々とした気温も重なって、人の出足はまばらでした。

それでもイベント全体としては、とてもアットホームなムードが漂い、心温まる一日で、室内のステージでは、「着物のリフォームファッションショー」や「歌のライブステージ」なども次々と披露されました。

この「りんごの花まつり」は第8回目だそうで、リユース食器を使用してゴミが出ないように配慮



され、地元の食材にこだわった郷土料理の店や、雑穀パン、手作り品の販売や、フリーマーケットなど随所にエコ意識の高さがうかがえる内容になっていました。雪のために来場者は少なめではありましたが、手回し発電などを体験してもらい、みんなで地球に優しい暮らしをしたいですね～と共感することができました。来年は、ぜひ、雪ではなく晴の日のイベントになることを願っています！
(by ひかる☆)

第1回サクラソウまつり

出動日：5月23日（土）
場 所：田野畠村田代

農道工事に伴う環境調査により、岩手県のレッドデータブックでBランクに指定されている「サクラソウ」が自生しているのが発見され、それを守り育てようと活動する方々によって、今回のイベントが企画されたそうです。エコカーゴもお祭りに協力しようと、いろんな実験キットなどを並べてみました。子どもから大人の方まで、たくさんの方が見てくださいました。地域のみなさんの手作りのイベントで、とてもあったかい雰囲気でした。これからも続くといいですね♪

(by かんちゃん)



他にもこんなところに行きました！

- ・もりおか環境緑化まつり
出動日：4月24日（金）～26日（日）
場 所：盛岡城跡公園広場
- ・肴町こどもフェスティバル
出動日：5月5日（火）
場 所：盛岡市ホットライン肴町アーケード内
- ・住宅ハウジング イベント
出動日：5月6日（水）
場 所：北上市ひたかみ住宅公園
- ・環境学習会
出動日：5月14日（木）
場 所：くすまき高原牧場
- ・まちなか植樹だいさくせん!!
出動日：5月16日（土）
場 所：やませ土風館
- ・ECO EVENT～もっとエコを知ろう～
出動日：6月20日（土）、21日（日）
場 所：イオンモール盛岡専門店街1階セントラルコート
- ・環境学習会
出動日：6月22日（月）
場 所：奥州市立黒石小学校、佐倉河小学校
- ・100万人のキャンドルナイトin石神の丘
出動日：6月27日（土）
場 所：石神の丘美術館

Information

詳しいことは、環境学習交流センターまでお問合せください。

～学びからやさしい未来を～
土日環境学習講座

■場 所：環境学習交流センター

■参加費：無料

今月7月から平成22年2月までの毎週土曜日と日曜日に講座を開催します。

7月と8月の分はホームページでお知らせいたします。



9月からの各月のテーマは以下のように予定しています。
テーマごとの講師を自薦他薦問わず広く募集しています。

- 9月 社会環境、生活環境
- 10月 保健衛生
- 11月 新エネルギー
- 12月 新エネルギー
- 平成22年1月 循環型社会
- 2月 身近な自然環境
- 3月 その他

こどもエコクラブ交流会

8月9日（日）開催！

■場 所：花巻市東和町

田瀬ダム～とうわメダカの里「水ツアーア」

団体紹介

今回は、地域に密着した活動をしている団体をご紹介します。

NPO法人イーハトーブ里山 水棲生物保存会（花巻市）

NPO法人イーハトーブ里山水棲生物保存会は、1999年に花巻空港の滑走路拡張予定地で捕らえたメダカを保護・増殖しようと集まったクラブを前身とした団体です。2003年に法人認証され、現在は約3ヘクタールの敷地と15にも及ぶ溜池を管理しています。水辺に生息する生態系を守り育てると共に、花巻市東和地域の生物が生息できる環境の保全及び再生の手助け、これらの自然資源を活用した「まちおこし」や、地域振興に寄与することなどを目的とし活動しています。

当時理事長がショベルカーで掘り造った溜池は、その時に連れてきたメダカの子孫たちやタナゴ、サンショウウオ、ヨシノボリや、ミズバショウ、スイレンなど、どこからともなくやって来た生き物たちの楽園となっています。会を運営する人達は自然遊びの達人です。「メダカの学校」と題した体験教室は、昔懐かしいメダカ獲りや水辺の生物との触れあいが大好評をいただいている。その他、ビオトープ見学会、環境講演会などの活動を通して、次世代に貴重な環境をつなぎたいと思っています。



いわいすみ山人会（岩泉町）

岩手県北上山地のど真ん中にあり、山林が多くきれいな水と済んだ空気を誇りとしている町、岩泉町。この町では山川草木を生業としている人も多く、人々は色々な形で山と係わりながら生活しています。山とともに生きることに喜び、誇りを持つ人々が、よりよい町を作ることを目的に作った組織が、いわいすみ山人会（せんにんかい）です。

メンバーは、岩泉の山林内の動植物調査、希少生物の保護、環境保全の為の巡回等を行う「山を活かす会」代表を中心に、造林や自然体験など観光への取組み、キノコが生える環境づくり、森林インストラクターの養成等、それぞれの分野に添った形で活動を行っています。お互いの技術や知識を提供し合い、連携して仲間達が一丸となることで、岩泉の環境保全を繋げています。また、一般向けに入山指導を行ったり、山菜採りやトレッキング、野鳥観察、体験農園といった様々なイベントを企画したりするなど積極的に活動しています。

これからも岩泉の自然環境と共生しながら、その魅力を発信していくたいと考えています。

「皆で取り組んでいます。CO₂ダイエット日記」その4

今回の皆さんのは『ガス』についてピックアップしたいと思います。

エネルギーというと電気や石油を一番に思い浮かべる方が多いのではないかでしょうか。皆さん声の中でも、実際ガスの使用についてのコメントは少なめ。ガスも生活に密着したひとつのエネルギー源です。改めて見直してみましょう！まず、ガスについての基礎知識から。

一般的に使われているガスは天然ガス、または石油等から作られたもので2つの種類があります。

●プロパンガス

- 液化されたガスが入ったボンベで供給
- 空気より重いので下に溜まる
- においがある

●都市ガス

- 地中に埋めたガス管を通して供給
- 空気より軽く上に溜まる
- 無臭なので、漏れた時のためににおいをつけてある

同じ量燃やした時、プロパンガスは都市ガスの2倍のエネルギーを発生させます。その為やや値段も高めです。家庭の台所やお風呂、レストランのキッチンはもちろん工場では高温度が必要な熱処理技術（ねつしょりじゅつけい）にも活用されます。ショッピングモールや病院、ドーム型野球場などでは冷暖房用としてガス空調システムの普及が進んでいます。

この様にさまざまな場所で活躍するガス。皆さんはどの様に使用しているのでしょうか。まずは台所から見てみましょう。

- コンロの火は中火で効率よく。
- キッチンのお湯は使わず、ゴム手袋をして水洗いしました。
- 煮物は圧力鍋を使うようにしています。
- 電子レンジで下ごしらえするよりガスで下ゆでしたほうが料金より安いことも。
- もっとエコを実践しなければ！圧力鍋を使用したところ、だいぶガス代が減りました～！

皆さん賢くエコしていますね。このほかにも

- お湯を沸かすときは蓋をする（熱を逃がさない）
- ガスコンロの汚れはとり、綺麗にする
- 給湯器の種火をかる
- 沸騰した鍋を毛布などで保温して火を通すなども効果があります。ぜひやってみてくださいね。

●圧力鍋の魅力と注意

圧力鍋は短時間に調理ができるので、ガスの使用量が減り時間も節約できるので重宝します。水の沸点は100℃くらいですが、熱で圧力をかけると約120℃になります。これにより早く火が通るので、圧力鍋はその名の通り鍋の中に圧力が発生しているので、そのままの状態で蓋を開けると水蒸気が噴き出すなどして危険です。

よく説明書を読んで使用しましょう。

つづいてはお風呂です。

- どおしてもお風呂の設定温度などは1度2度上げてしまします。湯量は少なくしてゆったり半身浴しています。
- お風呂は家族でつづけて入るようにしています。シャワーも水だけの問題ではないと思いきをつけて使っていきます。

★お風呂でも賢くガス節約

皆さんからいただいた他にも、以下の方法でエコが可能です。

- お風呂の蓋は閉める。内側にアルミシートを挟むと、更に効果的に。
- 夏、風呂釜の場合は水を早めにはっておくと、水温上がり早く沸かす事ができる。

工夫は探せばたくさんあるものですね。自分に合ったエコ方法で楽しく温暖化防止しましょう！エコチェックでも更にエコできるアドバイスや情報をお知らせしています。ぜひ活用してくださいね。

第4回の広場いかがでしたでしょうか？次回もどうぞお楽しみに。



☆CO₂ダイエット日記について、詳しくは下記ホームページを参考ください。

パソコン版：<http://www.aiina.jp/environment/co2diary/top.html>

携帯版：<http://www.aiina.jp/environment/co2diary/mobile-top.html>

※郵送・FAXでも取り組めます。環境学習交流センターまでお問い合わせください。



県内のイベント情報

県内のイベント報告

「4月の赤林山登山」

○日時：4月29日（水・昭和の日）
○会場：盛岡市 都南つどいの森～赤林山

“山にあるすべてのものと親しみませんか”の嬉しいお誘いをもらい、スタッフ2名も混ざって総勢十数名で、南昌山と箱ヶ森の真ん中に聳える赤林山に登ってきました。目指すは盛岡一大きなブナと言われる「あがりこブナ」！

軽登山と侮ることなかれ。ほとんど整備されていないルートで、中々ハードな傾斜もあり、何度も「わっ」と小さく叫びながら足を踏み外しそうに（・ω・；）そんなスタッフを尻目に、赤林山常連の

子どもたちは、臆することなくすんすん先へ先へと進んでいきます。みんなかっこいいぞ！

道中クマのうんちが落ちており、心中で「おじゃましますね～」と挨拶をしながら、ゼンマイの醸し出す雰囲気にうつとりしたり、カタクリやキクザキイチゴの群生に惚れ惚れしたり。標高約860mの場所に位置するあがりこブナの中に全員入り（！）撮影をしたのは良い記念です。

結論から言うと…とても楽しかった！黙々と歩くことって、こんなに夢中になれるものなんだと幼い頃の感覚がよみがえりました。そして、主催のKさんより

道々拾い集めたコゴミをお土産に頂いて、帰宅してからも春の自然の恵みを堪能し、山歩きの締め括りとしたのでした（うーん、うまいっ）。(by よっすい)



親子de百姓さん がっこく～食育コミュニケーション いのちを育て、いのちと共に食す～

■日程・内容

□つぶつぶ雑穀料理＆おやつづくり

・日時：9月20日（日）

□秋の収穫祭

・日時：10月18日（日）

■開催要項

・時間：各回10:00～15:00

※1回のみの参加も可

・対象：親子10組程度

・場所：森と風のがっこく

・費用：各回大人2,000円、小学生以下1,000円（昼食、保険代込み）

森の暮らしプロジェクト

第4弾 森と人をつなぐアートオブジェ制作ワークショップ

～動物の巣のような心地よい場づくり～

・日程：①7月18日（土）～20日（月）

②8月22日（土）～23日（日）

・内容：自然素材の探索、収集

自然素材によるオブジェ制作

エコキャビン創出プロジェクト～日本初自然エネルギーの滞在型体験施設づくり～

■日程・内容

□太陽熱と森林資源の活用、自然エネルギーミュージアム探検

・日時：8月29日（土）～30日（日）

□バーマカルチャーで暮らし方をデザインしよう

・日時：10月31日（土）～11月1日（日）

■開催要項

・時間：初日13:00開始 2日目

14:30終了

・対象：16歳以上

・場所：森と風のがっこく

・費用：各回6,000円（宿泊、食費、保険等）

親父ってこんなにすごい！

親父と子どものアドベンチャーワーク2009in内間木

・日時：7月25日（土）～26日（日）

・参加料：大人3,000円 子ども1,500円
(食費・保険料・宿泊費等込)

・場所：内間木キャンプ場

・定員：30組（親父とその子ども）

・申込締切：7月13日（月）

お問合せ

親父と子どもの夢冒険実行委員会
(大川目小学校内 担当：副校長)

TEL：0194-55-3254

FAX：0194-63-1026

夏休み網張の森ミニ自然観察会

・日時：7月20日（月）～8月21日（金）
(7/26、8/1、8/8、8/16除く)
午前10時～、午後1時～

・参加料：1人300円（小学生以上）

・集合場所：網張ビジターセンター

・定員：各20名

鞍掛山自然観察会

・日時：8月16日（日）

午前9時40分～午後2時30分

・参加料：大人600円 小学生400円

・集合場所：相の沢登山口（駐車場）

・定員：30名

「岩手山まるごと体験ネットワーク」

網張星空観察会

・日時：9月12日（土）

午後7時～9時

・参加料：大人600円 小学生400円

・集合場所：網張ビジターセンター

・定員：30名

お問合せ

網張ビジターセンター

TEL：019-693-3777

FAX：019-693-3778

E-mail：amihari@vanilla.ocn.ne.jp

少年少女ホタルウォッチング

・日時：7月18日（土）

午後5時～午後9時

・集合場所：零石町総合体育館

バイパス沿い駐車場

・諸注意：ヘッドランプまたは懐中電灯、軽い夕食

少年少女矢櫃川カジカウォッチング

・日時：8月9日（日）

午前8時30分～午後3時

・集合場所：旧盛岡市繫スイミングセンター駐車場

・諸注意：濡れてもよい運動靴、またはサンダル、着替え、帽子、軍手、水中メガネ、ガラス箱があれば楽しめる

少年少女シロミ沢未知の洞ウォッチング

・日時：9月13日（日）

午前9時30分～午後3時

・集合場所：零石町総合体育館

バイパス沿い駐車場

・諸注意：長袖、長ズボン、手袋、長靴

少年少女盗入森（ぬすっともり）のリースメイキング

・日時：10月18日（日）

午前9時～午後3時

・集合場所：滝沢村姥屋敷小中学校前

・諸注意：長袖、長ズボン、手袋、花バサミ、枝きりバサミ持参

お問合せ

岩手自然ガイド協会設立準備会（高橋）

TEL：019-692-2443

E-mail：yoshikazu-inga@mail.goo.ne.jp

◆お知らせ◆

平成21年度「いわて地球環境にやさしい事業所」エコスタッフ養成セミナー

参加費：無料

開催地	開催日	定員
金ケ崎町	7月10日（金）	70名
宮古市	10月9日（金）	70名
盛岡市	1月15日（金）	70名

お問合せ：岩手県環境生活部

環境生活企画室

TEL：019-629-5271

E-mail：AC0001@pref.iwate.jp



及川斉志さん
昭和52年生。大学を卒業後、環境保護に関わる仕事をしたくて、東京のレストランで働きながら、グリーンピースのボランティアをする。現在、フライブルク大学森林環境学部で勉強中で、フライブルク市内の学生を中心としたグループ（エコフライヴァリッヒ）を友人と創り、週一回集まり環境について語り合っている。

今号から3回に渡って、ドイツの環境都市・フライブルク市在住の及川斉志さんによる“ドイツ通信”をお送りします！まずははじめに、フライブルク市の町の様子をお聞きしました。

春から夏にかけて僕の部屋の窓からは、さわやかな若葉の薄い緑色や落ち着いた針葉樹の濃い緑色が見え、安らぎを与えてくれています。フライブルク市は、ドイツの南西端に位置しスイスとフランスの国境にあって、シュバルツバルト（黒い森）と言う緑豊かな地域にある街です。そのフライブルク市の僕の家は、山の中腹にあるバスの終点からすぐのところにあり、町の中心部からは路面電車とバスを乗り継いで約30分ほどかかります。

フライブルク大学で僕は森林・環境学を1年半前から勉強しています。環境保護に興味があり、環境先進国ドイツの環境首都と呼ばれるフライブルク市で、色々と体験して学びたいと強く思い、やってきました。

フライブルク市の旧市街地の石畳と水路のある町並みは、中世の面影を残していて落ち着いた雰囲気で、すぐ近くには森があり、自然と人間の歴史の調和を感じます。でも実はこの旧市街地は第二次世界大戦の時の空爆で、中心に聳え立つミュンスター（教会）を残し、壊滅的に破壊されたという歴史があります。その後の復興の時に、以前のような歴史ある町並みを復元することにしたのです。

もちろんフライブルク市内にもマンションが密集している区域もあり、またタバコのポイ捨ては非常に多く、道端に吸殻が目立ち気になる点もあります。しかし、それでもとても住み心地の良い魅力的な街で勉強できることに満足し、充実した日々を過ごしています。

環境アドバイザーの紹介



新任の楠田拓郎さん

田野畠の海を中心とした自然を活用しながら、子ども達と一緒に楽しみながら環境のことを考えたり、自然の中で遊ぶことの楽しさを伝えなければいいなと思っています。



**いつも朗らか藤根正悦さん
(写真・左)**

今年も楽しく、難しい話よりもみんなが具体的に行動できるようなことを伝えていきたいと思っています。

**笑顔が素敵な川辺弥生さん
(写真・中央)**

エコ（節約）は我慢ではなくて、「自慢だよ！」っていうような楽しいエコ活動を少しずつ提案していかなければいいなあと思っています。

**子ども達にモテモテ泉山博直さん
(写真・右)**

野山に出て楽しく遊んでいるうちに、自然に身に付くような活動をしています。エコクラブは今年で15年目！20年までは頑張るつもりです（笑）。

講師派遣の申込み受付中です

岩手県では環境問題に関する研修会等を開催する場合に環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣しています。例えば、公民館の講座や小中学校の総合学習の授業、企業の研修会など様々な場面をご利用いただいております。

申込方法など詳しい情報は、環境学習交流センター（岩手県地球温暖化防止活動推進センター）までお問合せ下さい。また、センターのホームページでも紹介しております。

<センター通信>スタッフのつぶやき

「県内のイベント報告」で、スタッフYによる報告があつた「赤林山登山」に、わたしも参加してきました。報告通り想像以上にハードで辛い登山でしたが、息を切らしへとへとなっているわたしを尻目にスイスイと登っていく、スタッフY。さすが二十代、これが若さというものでしょうか。その後ろ姿を見ながら、つくづく年の差を感じてしまった一日でした（哀）。(H)

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail : eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。

次号は11月発行予定です。
楽しみに待っていてね！



古紙配合率100%再生紙を使用しています

